



高傾斜 (High-Incline) トレッドミル DK-6059

(準業務用) 取扱説明書



この度は **高傾斜トレッドミル DK-6059(準業務用)** をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

- ◎ まず、本説明書を最後までお読みください。

内容を十分ご理解いただいた上で正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

- ◎ 本書巻末に「保証書」がついていますので、配送業者の送り状伝票とともに大切に保管してください。
- ◎ 本機は準業務用です。介護・福祉・教育の現場、ホテル・マンション・オフィスなどの共用設備として、また家庭用として軽頻度の運動向けに設計しています。利用目的は保証内容に影響しますので、予め用途をご確認くださいようお願い申し上げます。
- ◎ 改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。

※本書に記載されている数値は、実数と多少の差異が生じる場合があります。予めご了承ください。

安全上の注意

取扱説明書の注意及び警告内容は、危険の度合いによって２段階に別れております。記載されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告 誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容



注意 誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容



警告

☆使用上の警告

- 1) 無理をせず軽いスピードから始めて下さい。
- 2) 急激な運動は体に負担が掛かりますので、少しでも異常を感じましたら運動を中止して医師にご相談して下さい。
- 3) お子様が本機で遊ばないようにして下さい。また、使用中はお子様が近づかないようにして下さい。お年寄りの方が運動されるときには、必ず付添の人をつけて行って下さい。
- 4) お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方のトレーニング・リハビリ用にご使用の場合、必ずかかりつけの医師にご相談下さい。特に次のような方
(心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人口心肺装着の方)
- 5) 基本的には分解・改造は行わないで下さい。内部点検や修理をする際には販売店までご相談下さい。
- 6) 各部の機能が正しく作動しているかどうか、またネジ・ボルト等の緩みやガタがないか、使用前に必ず点検して下さい。
- 7) 乗降する場合には、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押したり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなったり、安全性を損ないケガをしたりする場合があります。
- 8) 同時に２人以上でご使用なさないで下さい。

☆電気器具の警告事項

- ① 使用電源については、次の事項を必ず守って下さい。
 - 電源は定格 18A 以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と共用すると器具の加熱により火災の原因となります。
 - 交流 100V 以外で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- ② 電源コードの取扱いについては、次のことを必ず注意してください。間違った取扱いをされると感電の原因になります。
 - 電源コードやプラグが傷んでいたりする時。
 - コンセントの差し込みが緩い時。
 - 電源コードの上に重いものを載せた時。
 - 電源コードを曲げたり、束ねたりした状態でご使用になった時。
 - 濡れた体でプラグ・電源コード等に触れた時。
 - 長期間ご使用にならない時。
(安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。)
 - 中継線（延長コード）を御使用の時。
(延長コードで中継することにより低電圧状況を引き起こし誤作動の原因となりますので、コンセントに直接電源コードを接続して下さい。)
 - 電源コードの先にはアース線が付いております、万一の漏電事故を防ぐため、接続してください。
- ③ モーター保護のため 120 分以上の連続使用はおやめ下さい。
- ④ 万一、異常な音、におい、煙が出たときには、電源を切り、電源コードを抜いて販売店もしくは当社までご連絡下さい。(最終ページの保証書欄をご参考にご連絡下さい。)



注 意

☆使用上の注意事項

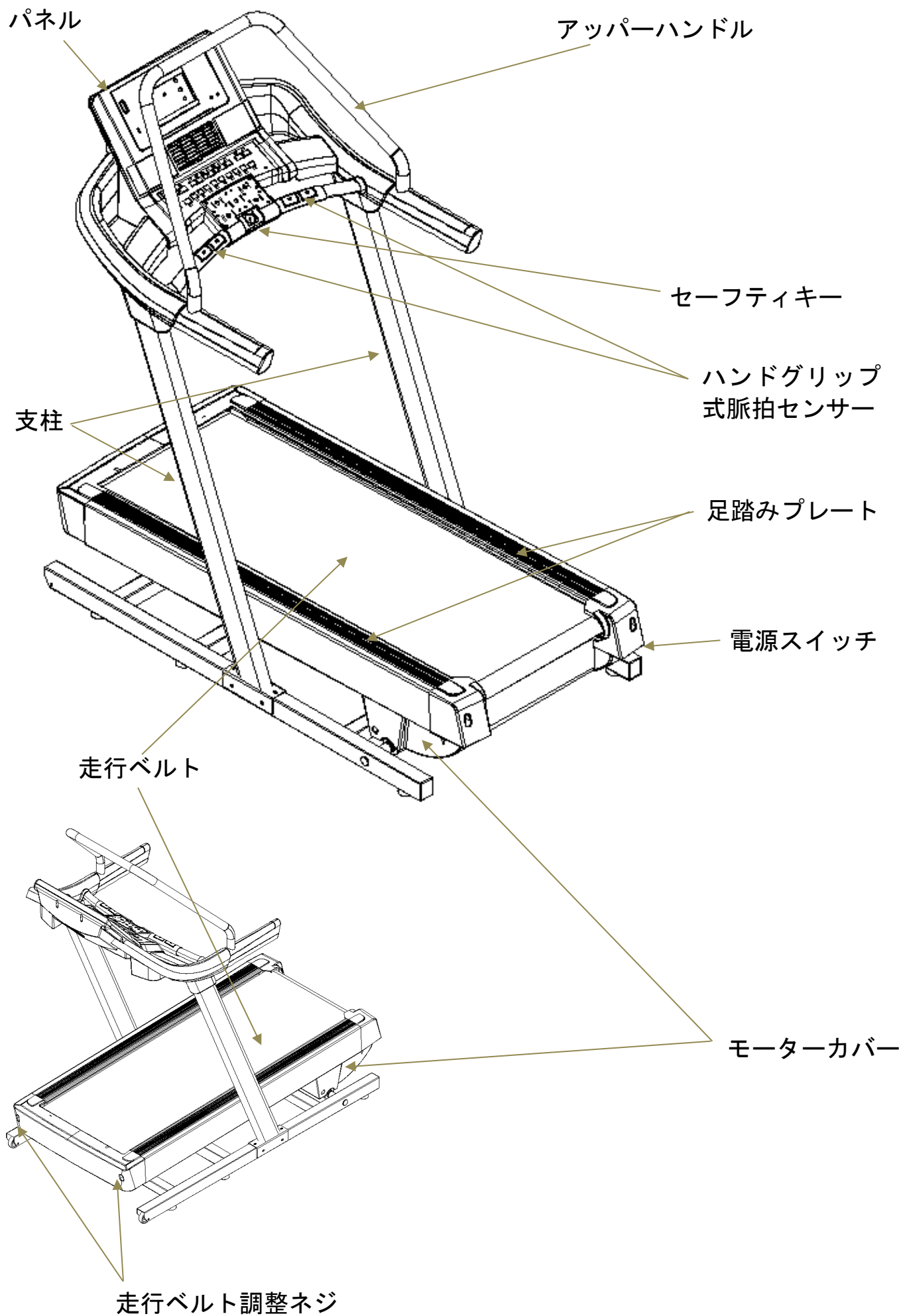
- 1) トレーニングの前後に必ずストレッチ（準備体操）を入念に行ってください。
トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行うように習慣をつけましょう。
- 2) 食後のトレーニングはやめましょう。胃に流れる血液が、体を使うことによって胃に流れにくくなって消化に影響を与えるので、食後2時間以上あけてからトレーニングをして下さい。
- 3) 必ず運動靴を履き、回転、駆動部に巻き込まれる恐れのない紐等のない服装でご使用下さい。
- 4) 運動方法につきましては、使用方法以外での使用はおやめ下さい。
- 5) 本機は一般家庭用のトレーニング機用に作られています。一般家庭以外でのご使用はおやめ下さい。
- 6) 異物を商品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となりますので、特にお子様のおられるご家庭では注意して下さい。
- 7) 体重が 130Kg 以上の方はご使用なさらないようにして下さい。
- 8) 使用しない場合には、電源コードを抜く等作動しない状況にし、特に幼児が触らない様注意して下さい。
- 9) ペット等にはご使用にならないでください。
- 10) 本製品は上りとくだりで傾斜がつきます。くだりの場合は前のめり、上りの場合高い傾斜のときの速度には充分きをつけてください。

☆設置・保管上の注意事項

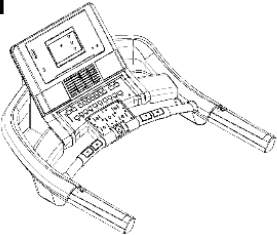
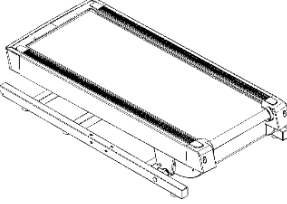
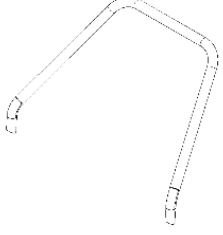
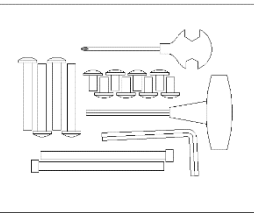
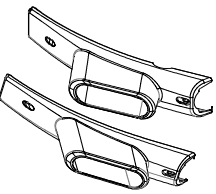
- サビの発生や負荷の調節不調、メーター等の故障の原因となりますので次の場所には設置、保管はしないで下さい。
 - ・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
 - ・屋外の設備（ガレージ・屋根付ガレージ等を含む）や浴室付近等の湿気の多い場所
 - ・砂ぼこり、磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く
 - ・室温が著しく変化する場所、床面がコンクリートの打ちっぱなしの場所
- ご使用前にはハンドル・手すり・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認して下さい。
- 本機は使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置して下さい。
- 歩行面（ベルト）には、絶対に物を置かないで下さい。
- 本体カバー部は樹脂製です。カバー部・ハンドルには絶対に寄りかかったり、乗らないで下さい。
- ベルトに局部的に亀裂が発生すると進展し、使用中に破損等して危険ですので、必ず確認してからご使用ください。
- ベルト類は消耗品のため、ご購入より3ヶ月以上経過したものについては有償となります。
- カバー類、ハンドル部ラバー、足踏みプレート等のプラスチック類の破損に関しては、初期不良以外すべて有償になります。
- 走行ベルトが偏ったときは走行ベルトの調節方法を参考に調整を行ってください。
- 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、必ず整理整頓してからご使用下さい。
- 本機は必ず平らな場所に設置して下さい。
- 廊下やフローリングまたは畳の部屋で組立てやご使用になると、床を傷つける場合があります。必ず、布やカーペットを敷いて傷を付けないようにして下さい。
- 本機を廃棄する場合は、粗大ごみとして各自治体の方法に従って処理してください。
- 長期間ご使用にならない場合には、折りたたみ状態で保管しないでください。

製品仕様表

品名	高傾斜トレッドミル	材質・構造	スチールパイプ・合板ボード・ウレタン・ABS樹脂
品番	DK-6059	本体サイズ	W95×L172×H177cm
電源	AC100V (50～60kHz)	モーター	DCモーター(最大4.0馬力)
本体重量	132kg	走行ベルト	W55×L150cm
傾斜方法	電動式 37段階	速度	1～16km/h(傾斜に応じて)
電源コード	2.0m	脈拍計測	簡易ハンドグリップ式
生産国	中国		



パーツ図表

1 	2 2-L  2-R 	3 	4 
5 	6 	7 	8 
9 			

1 パネル

2 支柱（L・R）

3 本体

4 アッパーハンドル

5 セーフティキー

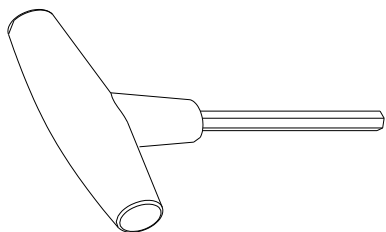
6 電源コード

7 取り扱い説明書

8 ツールパック

9 ハンドルカバー

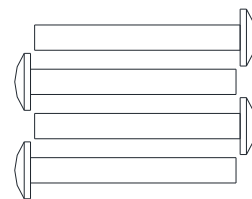
ツールパック詳細



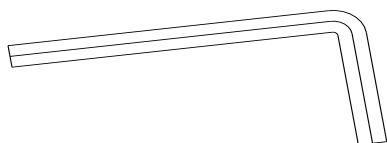
T型六角レンチ × 1



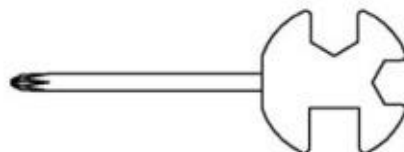
ボルト (M8-15) × 8



ボルト (M8-65-20) × 4



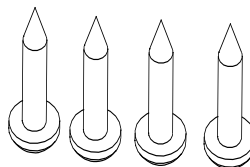
L型六角レンチ × 1



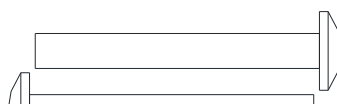
ドライバ付きスパナ × 1



L型ドライバーレンチ × 1



ネジ (M4-16) × 4



ボルト (M8-110-20) × 2

組立説明

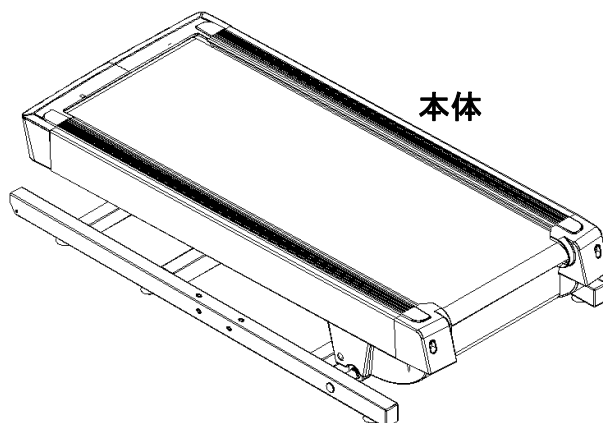
組立を始める前のご注意

- ※ 開梱及び組み立て時は、必ず2人以上で行って下さい。
- ※ 広い場所を確保した上で作業を始めて下さい。
- ※ 組み立てる前に、電源コードを接続しないでください。
- ※ 本機を箱から出す場合、必ず走行面を上にし、本体が床面と水平になるよう設置した上で組立を行ってください。横倒しにしますと本体と脚部フレームが開くことがありますので、ご注意ください。
- ※ 組立時、ステップごとのボルトをすべて仮止めにし、組み上がってから、スパナ（レンチ）で、強めにネジをしめてください。（都度の本締めしてしまいますと組立ができないことがあります。）

組立方法

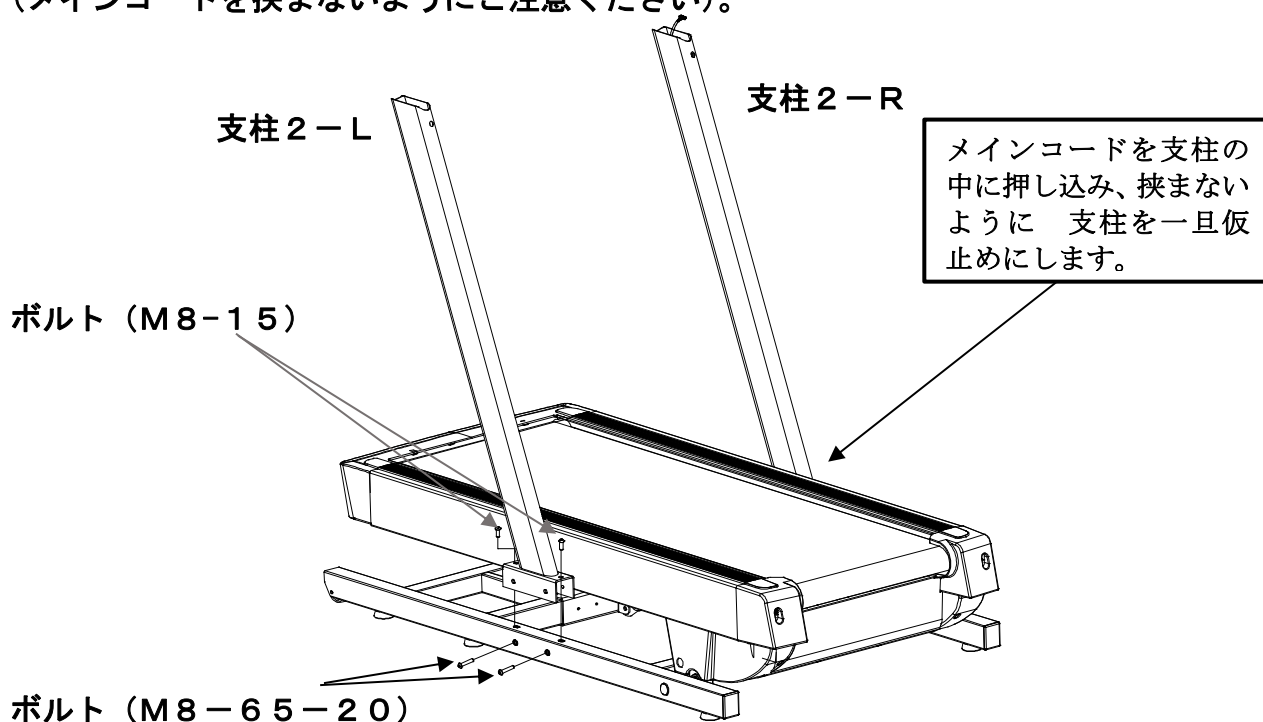
ステップⅠ

本体を箱から出して、平らな地面に設置してください。



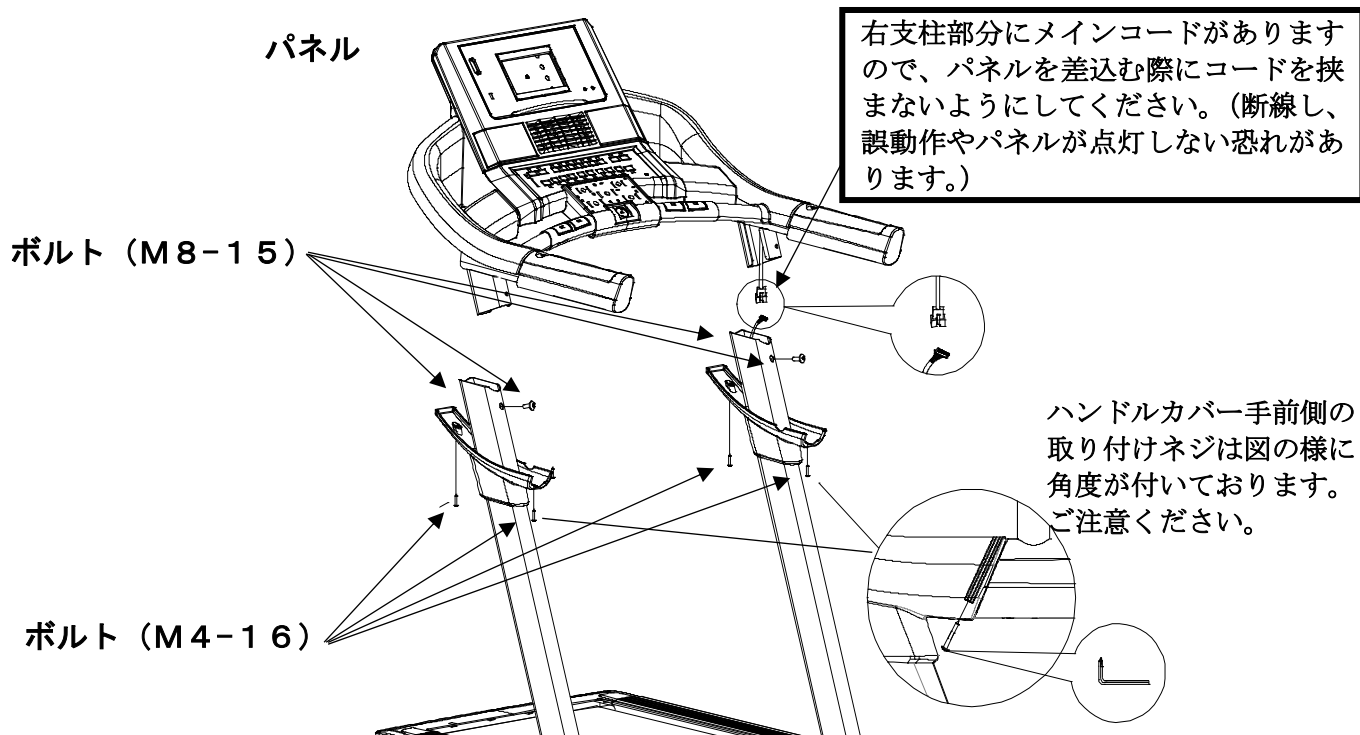
ステップⅡ

本体から出ているメインコードと右支柱内のメインコードを本体下部付近で接続し、その後 M8×65*20 4 本のボルトと M8×15 4 本のボルトで、左右支柱を本体に仮止めにて固定します（メインコードを挟まないようにご注意ください）。



ステップⅢ

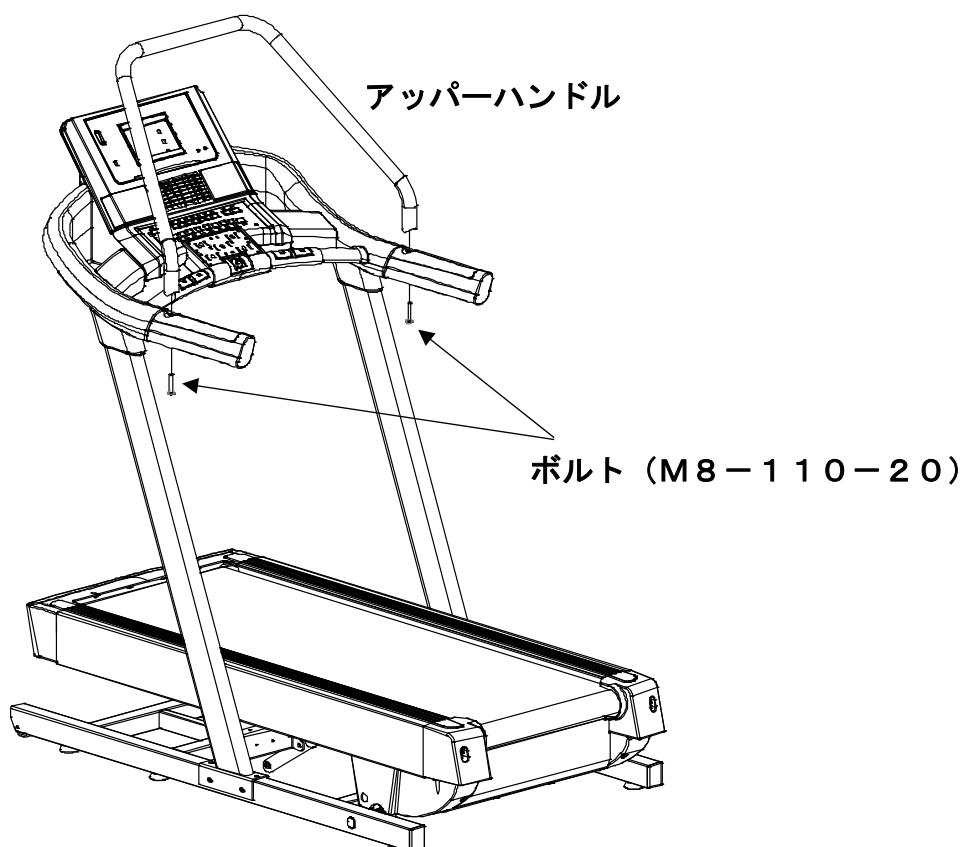
ハンドルカバーを左右支柱に嵌め、右側支柱から出ているメインコードとパネルから出ているメインコードを接続し、メインコード支柱内に収め、その後パネルを左右支柱に差し込み、M8*15 ボルト 4 本で固定します。最後に M4*16 のネジ 4 本でハンドルカバーを固定します。



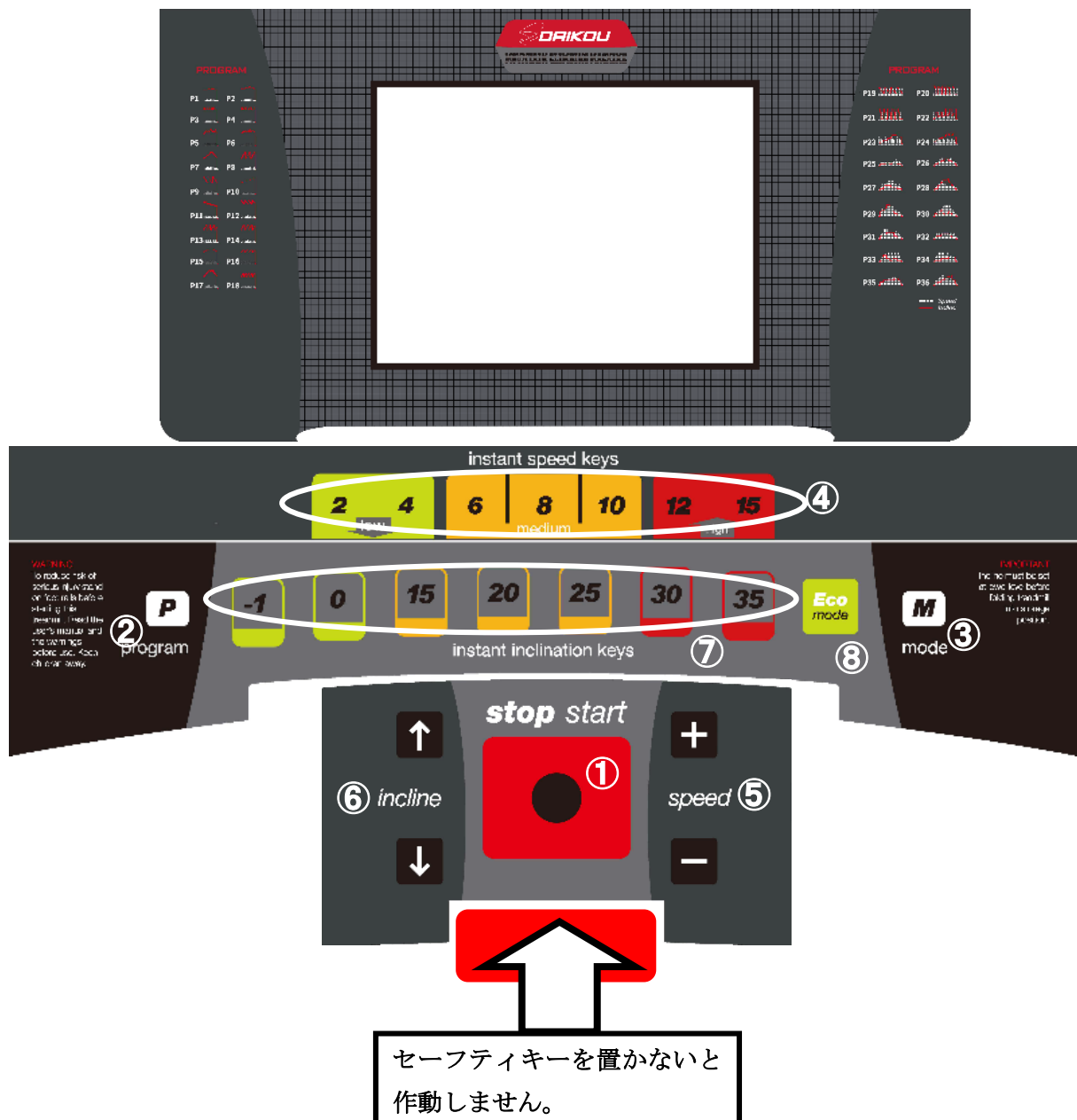
ステップⅡで仮止めしたボルト等をここで本締めしてください。

ステップⅣ

M8×110×20 2本のボルトでアップーハンドルを左右支柱に固定していきます。



操作パネルの使用方法



●ボタンの説明

セーフティキー 運動中についていけない場合や足をとられた場合、セーフティキーが外れ、ベルトが自動的に止まるように設定されています。

- ① START/STOP スタート/ストップ トレッドミルの動作開始・停止を行います。
- ② PROGRAM P プログラムの選択 (P1-P36、U1~U3、FAT)
- ③ MODE M 時間・距離・カロリープログラムの設定・数値を確定させる
- ④ 2・4・6・8・10・12・15 (km/h) 速度ワンタッチボタン
- ⑤ SPEED (+)・(-) キー走行ベルトの速度を調整します。目標数値等を入力します。
- ⑥ INCL (↑)・(↓) キー本体の角度を調整します。目標数値を入力します。
- ⑦ -1・0・15・25・30・35 (段階) 角度選択ワンタッチボタン
- ⑧ ECO エコモード 1回押す・・・傾斜が3段階上がる
ECO が表示されている状態で押す・・・傾斜が3段階下

起動方法 (※運動をする際には必ず運動靴を履いて行ってください。)

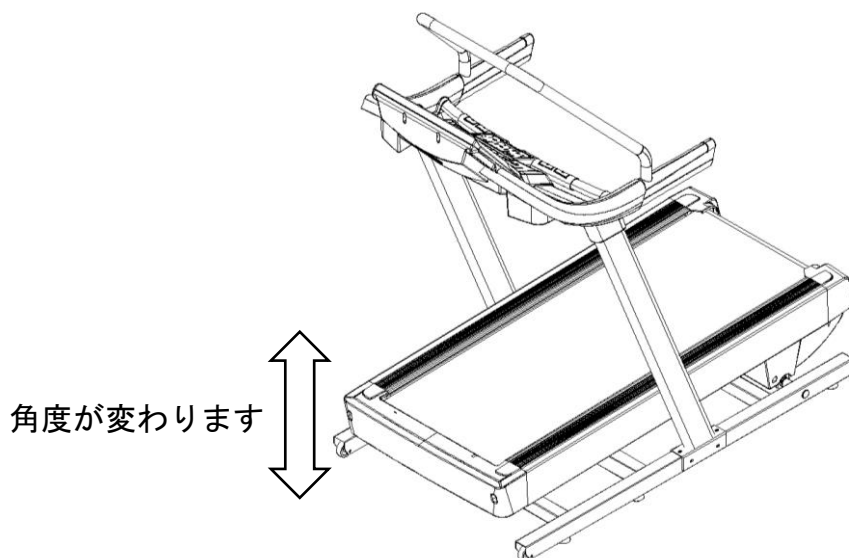
- 1 本機を安全確保し、運動できる状態にして下さい。
- 2 電源コードをコンセントに奥までしっかりと差込んで下さい
- 3 電源コードを延長コード等、中継させるものを間に入れずに直接コンセントに差込んで下さい。
- 4 電源スイッチを入れて下さい。
- 5 ベルト脇の左右足踏みプレート中央部に乗り、メーター中央下部にある凹部に重なるようにセーフティキーを置いて下さい。
- 6 セーフティキーより伸びている紐の先端にあるクリップを衣服に付け、紐がたるみ過ぎない様結ぶなどして調節して下さい。(スピードについていけない時など紐のたるみが無くなり、セーフティキーが外れる事により、ベルトが自動的に止まり、全ての動作が停止します。) セーフティキーが外れると警告が鳴ります。
- 7 運動目的に合わせコンピューターの操作方法を参考に設定し、運動を始めて下さい。

終了方法

- 1 目標運動もしくは運動を終了する場合、まず安全に左右足踏みプレートに乗って下さい。
- 2 ストップボタンを押して、ベルトを停止させて下さい。
(セーフティキーを抜いて停止させないで下さい。故障の原因になります。)
- 3 安全に本機より降り、電源スイッチを切って、コンセントから電源コードを抜いて下さい。
* 電源を入れた状態で放置いたしますと、故障の原因になります。
運動終了後は速やかにスイッチを切り、コンセントから電源コードを抜くようにして下さい。

電動式角度調整機能

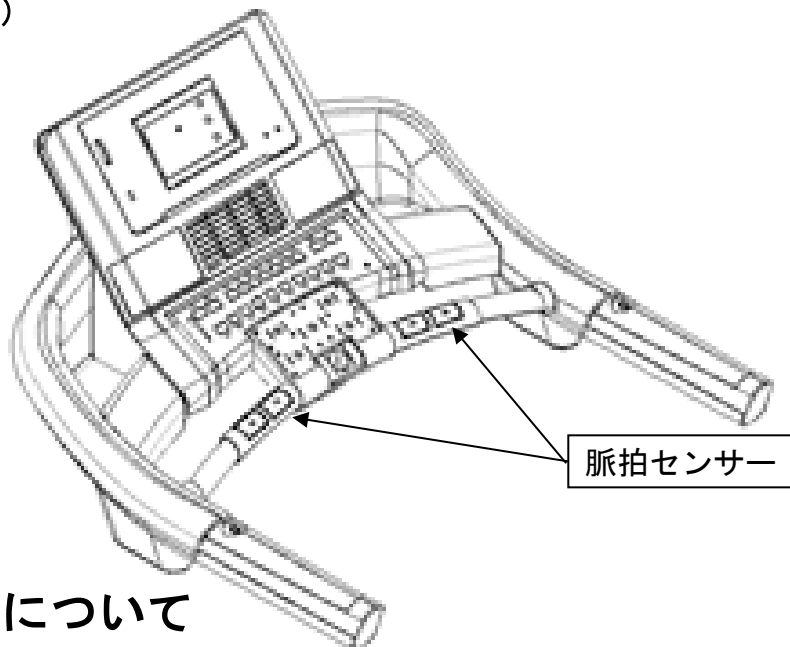
いろいろな運動効果を得るために、傾斜角度を電動で調整できるようにしています。
走行中、パネルにある角度調整ボタン、ワンタッチ角度調整ボタンを押すと、本体の前方が上げ下げすることにより角度調整を行います。
運動終了後にストップボタンを押して走行ベルトを止めますが、傾斜は運動時の最後の傾斜のままになります。(傾斜を戻したい場合には、再び、スタートボタンを押し、走行面がゆっくりと下がっていきます。)



簡易心拍数表示機能

運動中、ハンドル脈拍センサーをそれぞれの手で握ることにより表示画面に現在の概ねの心拍数が表示されます。(下図) 握っても表示されない場合は、手をこすり合わせてから再度握って下さい。

(※ハンドル脈拍センサーは簡易的に脈拍を計測しております。※簡易測定のため、参考程度にご利用ください。)



簡易体脂肪計について

設定方法

運動を行わない状態で、プログラムボタンを押し、パネルに[FAT]の表示が点灯されます。モードボタンを押してF-1 性別 (男-01・女-02 を選択) → F-2 年齢 → F-3 身長 → F-4 体重で任意の数値を入力していきます。→ F-5 体脂肪測定 任意の数値を「+」アップボタンと「-」ダウンボタンで選択し、モードボタンを押し決定させます。

最後F-4 まで入力をし、モードボタンを押し F-5 が表示されたら、両手でしっかりと左右ハンドルの脈拍センサーを握ってください。約 8 秒後に自分の体脂肪値が表示されます。

この機能はあくまでも簡易体脂肪計ですので目安として参考程度でご利用してください。

運動中には計測はできません。

＜使用時間を守ってください！＞

本製品を末長くご使用していただくために、モーター保護等の観点から下記に示す使用時間を必ず守ってください。

1. 連続使用時間は **120分** までです。
2. つぎに使用するときには、一定の時間をおいてからご使用ください。
(30 分まで連続使用⇒5 分以上、31～120 分は使用時間の 1/4 分以上機械を休ませる。)
3. 一日の総使用時間の限度は **6時間** までとします。

※スイッチが入っている間は使用しているのと同じ状態ですので、ご使用になっていない時は必ずスイッチを切っておいてください。

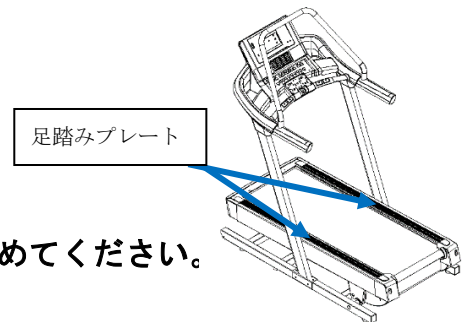
※シリコンスプレーを定期的に使用することも忘れずに！ (潤滑剤補充の項参照)

運動をはじめるには・・・

※必ず足踏みプレートに足を乗せてからスタートボタンを押し、走行ベルトが動いているのを確認してからベルトに足を乗せて運動を始めてください。

●すぐに運動を行いたい方の操作方法

1. 電源をオンにします。
2. (スタート/ストップ) ボタンをおしてください。
※走行ベルトが動き出したのを確認してから運動を始めてください。
＜運動中の調整＞
速度を調整するには・・・パネル下「スピード」の「+」「-」を1回押すことで「0.1 km/h」ずつ変化します。(ボタンを押し続けると速度が徐々に変化し続けます。)
角度を調整するには・・・パネル下「角度」の「↑」「↓」を1回押すことで1段階ずつ変化します。(ボタンを長押ししないで下さい。)
3. 運動を終了するときには(スタート/ストップ) ボタンを押して終了してください。



●プログラムの設定

本機にはモード(時間・距離・カロリー)設定とP 1～P36 プログラムを選択することが出来ます。

○ 目標時間設定プログラム

このプログラムは目標の時間とするものを設定し、運動頂くものです。

※設定によっては、最大使用時間(60分)を超えてしまうことがあります。最大使用時間を厳守してください。

- 1 モードボタンを押して[TIME](30:00)を点滅させて下さい。
 - 2 パネルの上下ボタンを押して数値を増減させ、目標時間を入力して下さい。
 - 3 スタート/ストップボタンを押すとベルトが動き出します。
 - 4 目標時間設定は5:00(5分)～となっています。
- ※ 尚、設定時間は1分単位での設定となり秒単位では設定出来ません。

○ 目標距離設定プログラム

- 1 モードボタンを押して[DIS](1.0)を点滅させて下さい。
 - 2 パネルの上下ボタンを押して数値を増減させ、目標距離を入力してください。
 - 3 スタート/ストップボタンを押すとベルトが動き出します。
 - 4 目標距離設定は1km～となっています。
- ※ 尚、目標距離は1㎞単位での設定となります。

○ 目標カロリー設定プログラム

- 1 モードボタンを押して[CAL](50.0)を点滅させて下さい。
- 2 パネルの上下ボタンを押して数値を増減させ、目標カロリー値を入力してください。
- 3 スタートボタンを押すとベルトが動き出します。
- 4 目標カロリー設定は5～となっています。

※目標設定プログラムを選択し、使用中に速度と傾斜を操作することが可能です、設定した目標数値は、スタートをすると、カウントダウンが開始します、数値が“0”になりましたら、ベルトが止まります。

速度・傾斜自動変化プログラム入力方法

○ P1～P36 プログラム

※設定によっては、最大使用時間（120 分）を超えてしまうことがあります、最大使用時間を厳守してください。

設定方法

本機には 36 の自動変化プログラムがあり、プログラム設定ボタンを押し、P1～P36 プログラムを選択することができます。

- 1 プログラム設定ボタンを押すと、スピードの窓口に“P1～P36”が表示されます、同時に時間の窓口には 30 : 00 を表示されます。
- 2 「+」「-」ボタンを押して時間数値を増減させ、目標時間を入力して下さい。
- 3 スタートボタンを押すとベルトが動き出します。

P1～P36 各プログラムには、設定された時間に応じて、プログラム内容が 16 段階に分かれて作動をします。各段階が終ると「ピッピッ」という音でお知らせします。時間の経過ごとにスピード及び角度が自動的に変化します。

※ プログラム使用中には、スピード・傾斜の自動変化がありますので、ご使用中に転倒などがないようにくれぐれもご注意ください。

（スピード及び角度の変化状況は下図の通りとなっております。）

1	SPEED	1	2	2	2	3	2	2	3	3	2	2	3	2	2	2	1
	INCLINE	21	21	22	22	22	23	23	22	22	23	22	23	22	22	21	0
2	SPEED	1	2	2	2	3	3	3	3	4	3	3	3	4	2	2	1
	INCLINE	22	23	24	23	24	26	26	25	26	27	26	26	25	24	23	0
3	SPEED	1	2	2	3	3	3	3	4	3	4	3	3	3	2	2	1
	INCLINE	23	27	24	24	27	24	28	24	23	27	23	27	25	24	27	0
4	SPEED	1	2	2	3	3	4	4	4	4	5	4	4	3	2	2	1
	INCLINE	23	27	24	25	27	24	28	23	24	28	27	23	24	24	27	0
5	SPEED	1	2	3	3	4	4	4	5	4	4	4	3	3	3	2	1
	INCLINE	22	24	26	28	26	28	25	30	31	28	26	27	26	29	24	0
6	SPEED	1	2	2	3	4	5	5	5	5	4	4	4	3	2	2	1
	INCLINE	23	24	26	28	26	27	25	28	26	29	25	28	27	28	26	0
7	SPEED	1	3	4	5	6	6	5	6	6	5	6	6	5	5	3	1
	INCLINE	22	24	24	26	27	28	30	32	33	33	32	30	28	26	24	0

8	SPEED	1	2	2	3	4	4	4	5	5	6	5	6	5	5	6	1
	INCLINE	22	24	28	30	33	22	24	28	30	33	22	24	28	30	33	0
9	SPEED	1	3	4	5	6	6	4	5	6	6	6	6	5	5	3	1
	INCLINE	33	30	28	24	22	33	30	28	24	22	33	30	28	24	22	0
10	SPEED	1	2	2	3	1	2	2	3	1	2	2	3	1	2	2	1
	INCLINE	22	22	24	24	23	24	25	26	25	26	28	27	28	29	30	0
11	SPEED	1	3	4	5	2	3	4	5	2	3	4	5	2	3	4	1
	INCLINE	30	32	30	32	28	28	27	27	25	26	25	26	24	23	24	0
12	SPEED	1	4	5	6	2	4	5	6	2	4	5	6	2	4	5	1
	INCLINE	33	32	30	28	33	32	30	28	33	32	30	28	33	32	30	0
13	SPEED	1	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	1
	INCLINE	24	28	30	33	24	28	30	33	24	28	30	33	24	28	30	0
14	SPEED	1	4	5	6	2	4	5	6	2	4	5	6	2	4	5	1
	INCLINE	24	28	32	33	24	28	32	33	24	28	32	33	24	28	32	0
15	SPEED	1	6	5	4	6	6	5	4	6	6	5	4	6	6	5	1
	INCLINE	22	23	24	25	26	28	27	28	28	27	27	26	25	24	23	0
16	SPEED	1	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	1
	INCLINE	22	24	25	26	22	24	25	26	22	24	25	26	22	24	25	0
17	SPEED	1	2	3	4	5	6	6	1	2	3	4	6	6	5	3	1
	INCLINE	22	24	26	28	30	32	33	32	33	32	33	30	28	26	24	0
18	SPEED	1	3	4	2	3	4	2	3	4	2	3	4	2	3	4	1
	INCLINE	21	26	28	22	26	28	21	26	28	22	26	28	21	26	28	0
19	SPEED	4	12	4	12	4	12	4	12	4	12	4	12	4	12	4	12
	INCLINE	10	8	6	4	10	8	6	4	10	8	6	4	10	8	6	4
20	SPEED	4	12	4	12	4	12	4	12	4	12	4	12	4	12	4	12
	INCLINE	12	10	2	12	10	2	12	10	2	12	10	2	12	10	2	2
21	SPEED	2	6	12	2	6	12	2	6	12	2	6	12	2	6	12	2
	INCLINE	13	10	2	13	10	2	13	10	2	13	10	2	13	10	2	2
22	SPEED	12	6	2	12	6	2	12	6	2	12	6	2	12	6	2	2
	INCLINE	1	4	10	4	6	10	4	6	13	6	8	13	6	8	13	1
23	SPEED	12	8	6	2	12	8	6	2	12	8	6	2	12	8	6	2
	INCLINE	2	3	4	5	6	6	7	8	10	11	12	12	13	13	10	2
24	SPEED	10	6	4	10	6	4	10	6	4	10	6	4	10	6	4	2
	INCLINE	4	4	5	6	7	8	10	10	12	13	12	13	12	13	10	2
25	SPEED	2	3	3	4	5	3	4	5	5	3	6	9	7	6	5	2
	INCLINE	0	1	2	2	2	3	3	2	2	4	3	3	2	2	2	0
26	SPEED	2	3	5	7	9	11	7	5	6	8	10	12	7	6	5	2
	INCLINE	0	1	2	3	4	5	6	7	8	7	6	5	4	3	2	0
27	SPEED	2	5	8	9	10	12	14	15	15	13	8	9	7	8	5	2
	INCLINE	0	1	2	4	6	5	5	5	4	4	3	3	2	2	2	0

28	SPEED	2	3	6	9	10	13	8	9	7	6	6	7	7	6	5	2
	INCLINE	0	1	2	5	7	9	11	12	12	14	10	8	6	4	2	0
29	SPEED	2	6	12	8	10	13	14	16	15	13	8	9	7	6	5	2
	INCLINE	0	5	7	8	9	13	13	12	12	6	3	3	2	2	2	0
30	SPEED	2	4	6	8	10	12	14	16	16	16	16	12	10	6	4	2
	INCLINE	0	3	2	2	5	7	3	2	2	4	6	3	2	2	2	0
31	SPEED	2	6	9	13	15	13	10	9	8	7	9	11	8	6	5	2
	INCLINE	0	3	5	5	5	7	7	7	7	7	3	3	2	2	2	0
32	SPEED	2	5	8	9	5	9	5	9	5	9	6	9	7	9	5	2
	INCLINE	0	1	3	3	3	5	5	5	5	5	6	3	2	2	2	0
33	SPEED	2	3	6	9	11	8	13	8	13	8	13	8	13	8	5	2
	INCLINE	0	1	5	7	7	3	3	2	2	4	3	3	2	2	2	0
34	SPEED	2	6	8	14	15	13	14	9	8	13	6	9	7	6	5	2
	INCLINE	0	2	2	2	2	3	3	3	3	3	5	5	5	5	2	0
35	SPEED	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	9	7	6	5	2
	INCLINE	0	3	4	5	6	6	6	6	6	6	8	8	8	5	2	0
36	SPEED	2	6	7	9	11	13	14	8	8	9	7	9	7	6	5	2
	INCLINE	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	8	6	2	0

設定分数 ÷ 16 = 1 段階あたりの分数で速度・角度が変化いたします。

ユーザー（USER1～3）プログラム

このプログラムはユーザー自身がお好みで 10 段階の「速度」、「角度」をランダムに選択し、時間を設定して行うプログラムです。

設定方法

※転倒等の恐れがあるため設定する際、数値の範囲を「7」以下に抑えるようにしてください。

- 1 パネル下の「プログラム」を押し、「U-1」「U-2」「U-3」の内一つ選択し、「モード」を押し確定させます。
- 2 画面中央 STEP(段階)が点滅します。パネルの「スピード」の（△・▽）を押し任意の数値にし「モード」を押しして確定させます。
- 3 次に角度をパネル下の（△・▽）を押しして任意の数値にし、「モード」を押しして確定させます。
- 4 16 段階まで登録をおえたら、最後に TIME を設定します。
- 5 スタートをタッチし走行ベルトが動き出します。（表示は＜運動中画面＞に切り替わります。）

（TIME 表示は減算して表示されていきます。）

※設定によっては、最大使用時間（60 分）を超えてしまうことがあります最大使用時間を厳守してください。

※速度や角度が変化いたしますので、運動を行う際に転倒などにきをつけて行ってください。

データ設定範囲速度について

	初期	初期設定数値	設定範囲	表示範囲
時間(分:秒)	0:00	30:00	5:00-99:00	0:00~99:59
速度(km/h)	0.0	N/A	N/A	1.0-16.0km/h
傾斜	0	N/A	N/A	-1-35
距離(km)	0.0	1.0	1.0-99.9	0.0-99.9
カロリー	0	50	5-999	0-999

速度について

本機は傾斜により速度の上限が変わりますので、ご了承ください。

傾斜0~15段階・・・速度範囲1~16km/h

傾斜16~25段階・・・速度範囲1~8km/h

傾斜26~35段階・・・速度範囲1~6km/h

傾斜-1段階・・・速度範囲1~12km/h

<トラブルがおきたら>

下記のようなエラーコードや症状が起こった場合は、故障と判断される前に下記の点をお調べください。

エラーコード	意味	内容(対策)
Er01	接続不具合エラー	各接続コネクタに不具合(接続不良・断線等)可能性がある。モーター、基盤、パネルの故障も考えられます。
Er02	モーターエラー	モーター故障の可能性が高い。 付随してモーター基盤が故障している可能性もあります。
Er03	速度センサーエラー	速度センサーが速度のパルスを検知していない。速度センサーに埃が付いている。センサーが破損或は角度のずれ。トルクの微調整が必要。
Er05	電気と運行システム故障	電気系統とモーターシステム故障
Er07	セーフティキー関係	セーフティキーを所定の場所においてないか、セーフティキー基盤の故障。
Er09	インクライン関係の故障	傾斜が途中の状態で止まっているか、インクラインモーター、基盤の故障も考えられます。 「STOP」ボタンを数秒おして改善する可能性があります。

<故障かなと思ったら>

症状	原因	処置
動かない (コンピューターが表示しない)	電源プラグが差し込まれていない	プラグをコンセントに差し込んで下さい。
	電源スイッチをオンにしていない	電源スイッチをオンにしてください。
	セーフティキーが外れている	セーフティキーをパネルに置いてください。
	接続コネクタが外れている	コネクタの接続を確認してください。
	メインコードが断線している	パーツの交換が必要になります。
走行ベルトが当たっている	走行ベルト調整をしていない。	走行ベルト調整をしてください。

急に止まった	セーフティキーが外れている ベルトがたるんで空回りしている ベルトの摩擦が多い	セーフティキーをパネルに置いて下さい。 ベルトを張りなおしてください。 シリコンスプレーを塗ってください。
画面から文字が消えた 急に止まった	静電気の可能性が考えられます (乾燥した場所等)	電源を一旦 OFF にしてから、静電気防止スプレー等を走行ベルトやパネル周りにつける。 脈拍センサーや液晶付近を触らないようにして運動を行ってください。
走行中空滑りしたり、一瞬止まったような気がする	走行ベルトがたるんでいる モーターベルトがたるんでいる シリコンスプレーの塗りすぎ 走行ベルトの表面加工がなくなっている	走行ベルトを調整してください。 モーターベルトを調整してください。 ペーパータオル等で拭いてください。 走行ベルトの交換をおすすめします。
モーターが熱くなる	長時間使用した 寒さでベルトが縮んだ ベルトの摩擦が多い	30分以上操作しないでください。 ベルトをゆるめてください。 シリコンスプレーを塗ってください。
本体下に粉が落ちる	走行・モーターベルトがなじんんでいる 靴底のラバーがこすれている	本体の下を定期的に清掃する。
音がする	ガタツキ・キシミ音がする ローラーから音がする ベルトが擦っている	設置位置を確認し、ネジを締めなおしてください。 ローラー軸部分にグリース等の機械油を吹き付けてください。 ベルトがどこかにあたっているかを確認後、走行ベルトを調整してください。
コンセントを差し込むと火花が出る	スイッチが入っている	スイッチを切ってからコンセントを差し込んでください。
折りたたむことができない	角度がついたままになっている	角度調整を「0」にしてから、折りたたみを行ってください。
走ると「キュッキュッ」と音がする	前ローラー、モーターベルトに埃がたまっている	前ローラーの付け根部分にグリース等の機械油を吹き付けてください。 モーターベルト、前ローラーを乾拭きして、埃等を取り除いてください。

保守・運用について

走行ベルトの調整

本機は走行ベルト（以下：ベルト）を前後のローラーで引き、張りを持たせることで走行をさせています。現在ご使用になっている状態で足踏みプレート等にあたっていない場合には、現状で使用をお続けになってください。

もし、下記のような症状があった場合にはベルトの調整を行うことをお勧めいたします。

※注意：ベルト調整をする場合、3～5km/hの速度でベルトを回しながら、調整を行ってください。その際、六角レンチで調整ネジを回しすぎると、急激にベルトが偏りベルトを破損する恐れがありますので、慎重に調整を行ってください。

＜使用中、足を踏み込むと止まってしまう／空滑りをしてしまう＞

- 1 右調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
- 3 左右の調整後、一旦、ベルトを止め、自身で走行してみて止まり/すべりがないかを確認して下さい。
- 4 まだ、止まり/すべりがある場合には上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルトが持ち上がらない・走行ベルトの張りすぎ（縦に指2本程度入らない）場合＞

- 1 右調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
- 3 ベルト中ほどの左右どちらか片方の端をつまみ上げ、指2本程度持ち上がる状態に調節できたか確認して下さい。
- 4 まだベルトが持ち上がらない場合は上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルトが右側の足踏みプレートにぶつかっている場合＞

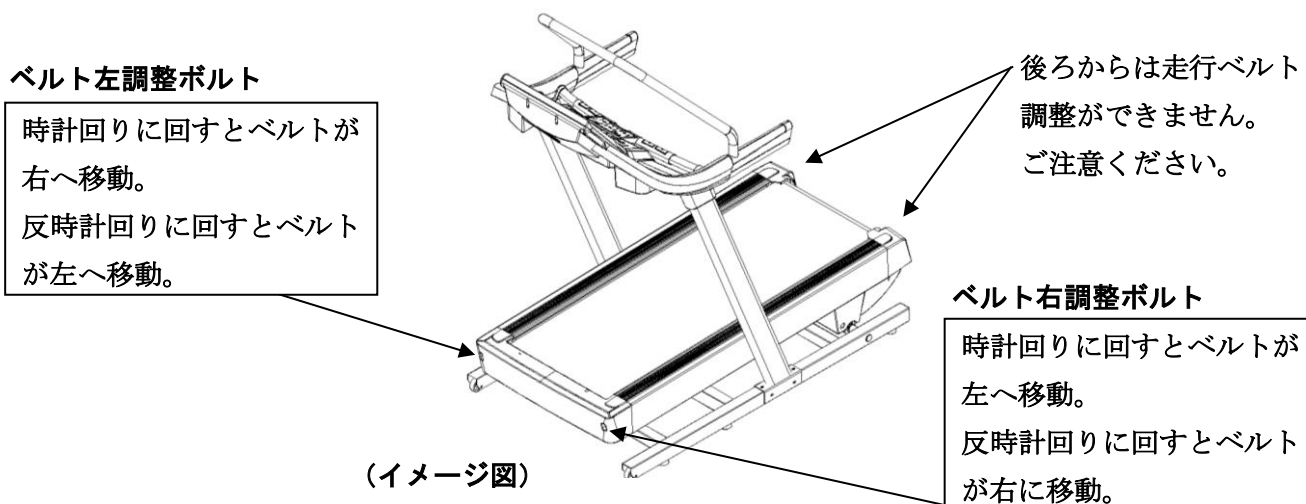
- 1 ベルトを回し、速度を3～5km/hまで上げて下さい。
- 2 右調整ネジに六角レンチを差込、ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。
（調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回してください。）
- 3 ベルトが徐々に左に寄ってきていることを確認して下さい。
- 4 まだベルトが右によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルトが左側の足踏みプレートにぶつかっている場合＞

- 1 ベルトを回し、速度を3～5km/hまで上げて下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。
（調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回してください。）
- 3 ベルトが徐々に右に寄ってきていることを確認して下さい。
- 4 まだベルトが左によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルト調整の注意点＞

左右の足踏みプレートにベルトが触れずに、回転をしていれば調整は完了です。
ベルトをプレートに擦ってキズをつけないように注意して行ってください。



潤滑剤（シリコンスプレー）の補充

本製品の走行板（走行ベルト下の板）には工場出荷時に潤滑剤が塗布されていますが、ご購入後の時間経過やご使用頻度に伴いベルトの裏側やボード上に埃が溜まる等の原因で摩擦が増大し、ベルトの消耗が激しくなる・モーターの寿命が短くなるなどの現象がおき、本来の性能を維持できなくなりますので定期的に清掃と潤滑剤の噴霧が必要となります。

潤滑剤使用の目安

ご購入後の初期段階の噴霧目安

- ・ ご使用時間約100時間もしくは、ご購入後約3ヶ月の経過に伴い工場出荷時の潤滑剤の効果が徐々に無くなってきますので、市販のシリコンスプレーをホームセンター等でご購入頂き噴霧して下さい。

＜上記以後の噴霧目安＞

- ・ 2週間以上ご使用のない場合は、運動前に走行面等のホコリを取り除いてから、必ず噴霧して下さい。
- ・ 最低でも1ヶ月に1度以上は噴霧することを心がけて下さい。

潤滑剤の使用手法

ベルトの中ほどの左右どちらか片側の端をつまみ上げボード全体に噴霧して下さい。

※ 注意 潤滑剤を多量に噴霧するとベルトの作動にかえって悪影響（ベルトが滑る）を与えます。

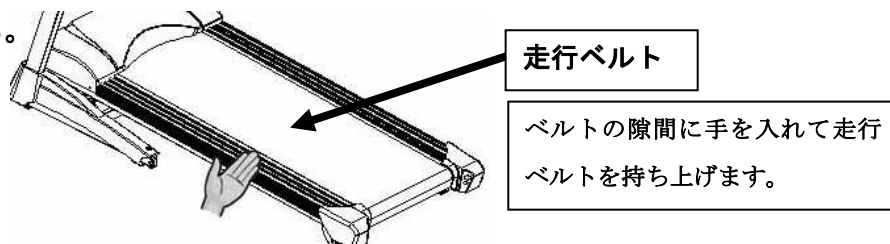
※ 注意 CRC556 等機械油を潤滑油代わりに使用しますとかえって滑りを悪くします。

使用頻度が多い場合には回数を多めにするようにして下さい

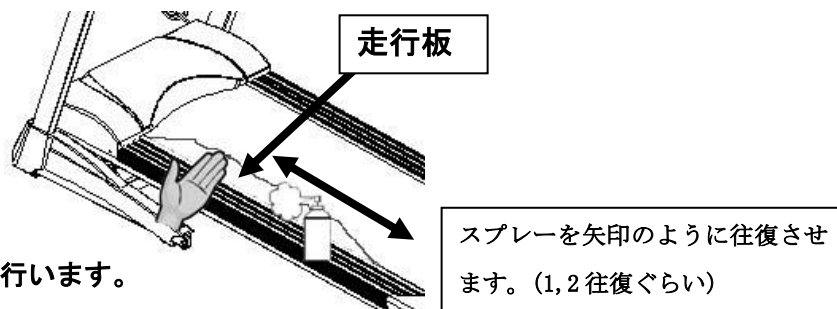
シリコンスプレーの噴霧の方法

シリコンスプレーを噴霧するときは、走行ベルトを停止させた状態で行ってください。

1. 走行ベルトを持ち上げる。



2. 持ち上げた状態で、スプレーを走行板に噴霧します。



3. 反対側からも同じように行います。

※シリコンスプレーに付属している細いノズルをつけて噴霧すると、より効果的です。

＜シリコンスプレーを噴霧するときの注意点＞

- ・シリコンスプレーのつけすぎには注意してください。
(つけすぎの場合、ベルトが空回りしてしまいます。)
- ・前後のローラーにかからないようにして下さい。
- ・走行ベルト表面には絶対にシリコンスプレーをかけないでください。
- ・シリコンスプレーを噴霧するときには本体の溝等に溜まっているホコリを取り除いてから、噴霧するようにして下さい。

シリコンスプレーはお近くのホームセンター等でご購入してください。

移動方法

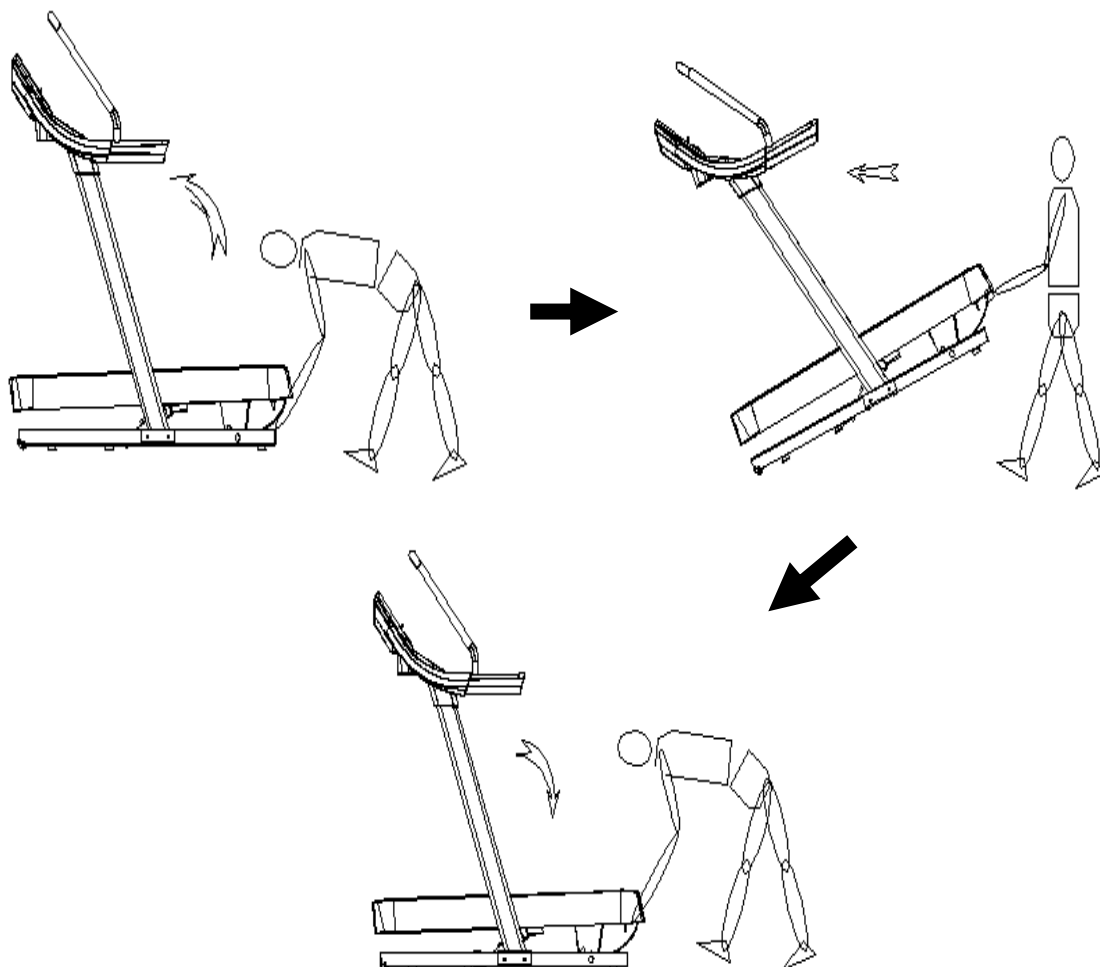
本機の移動を行う際、必ず床面が平坦であり、障害物が周りがないことを確認してから行って下さい。

本機は重量がありますので、床に傷がつくことがございます。

移動の際には敷物等をご用意下さい。

※体力等に自信のない方は危険ですので、2人以上で行うことをおすすめいたします。

- 1：傾斜を“0”まで下げて、走行面を水平の状態にしてください。
- 2：電源を切ってください。
- 3：電源コードをコンセントから抜いてください。
- 4：両手で本体の後方を支柱側へ持ち上げて、機台を前後移動することができます。



保 証 書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品 名	DK-6059 準業務用 高傾斜ルームランナー
保 証 期 間	お買い上より1年間
お 買 上 げ 日	年 月 日
お 名 前	
ご 住 所	
T E L	— —

販売店：

- (1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
- (2) 保証期間内に故障した場合は、お買い上げ販売店・輸入販売元にご依頼ください。
その際には本書をご提示ください。
- (3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
 - お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
 - 本来の使用目的以外による故障及び損傷・ペット（動物）等を使用した場合
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公、塩害等による故障及び損傷
 - 保管上の不備による故障及び損傷
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 取付場所の床面の損傷
 - 本保証書の添付のないもの
- (4) 使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。
- (5) 準業務用以外に使用や、ペット、家畜等を使用した場合は無償修理交換の対象になりません。
- (6) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- (7) 保証期間が過ぎた後の故障については有償にて修理交換することが可能です。
- (8) 本保証書は日本国内のみ有効です。
- (9) 修理品についての運賃、諸費用は原則としてお客様負担でお願いします。
- (10) 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと場合、無効になります。
ただし、商品をお届けした際の配送伝票や販売日等わかる書類がある場合はその限りではありません。
- (11) 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

フリーダイヤル：0120-25-1622

*携帯電話、PHS、IP電話からはご利用になれません。

受付時間：平日AM10～PM12時、PM1～5時までになります。

輸入販売元 大広 株式会社

(<http://www.daikou-dk.com/>)

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 3-41-4 2F

TEL：03-5652-5056 FAX：03-5652-5078

受付時間 （平日AM10：00～12：00 PM1：00～5：00）土・日・祝日休み